



鹿児島大学病院広報誌

だより

鹿児島大学医学部・歯学部附属病院広報委員会広報誌編集部

9号

2008.4



〈目次〉

【診療科・部門紹介】

》リハビリテーション科

》麻酔科

》歯科麻酔科

- 放射線科から経皮的椎体形成術のお知らせ
- 平成20年度診療案内
- 病院再開発 新中央診療棟の建築に着手
- 絵画寄贈者へ感謝状
- 錦江湾魚ごよみ
- 病院所在地・交通機関のご案内

かのやばら園(鹿屋市)

理念

鹿児島大学病院は、21世紀に輝くヒューマン・トータルケア病院の構築を目指し、医療人の育成及び医学・歯学の研究の充実と発展に貢献すると共に、常に患者さん本位の原点に立った、質の高い医療を提供します。

基本方針

1. 患者さんの権利を尊重し、安心して安全な納得のいく治療を心がけます。
2. 質の高い医療、先進的医療の充実を図り、地域の中核的医療機関として貢献します。
3. 教育・研修病院として、地域の医療機関との連携を図り、人間性豊かな使命感にあふれる医療人を育成します。
4. 診療を通じてわが国の医学・歯学の研究を推進し、医学・歯学及び医療の国際貢献を目指します。
5. 安全で効率の高い病院運営体制を確立します。

患者さんの権利と責務

〈患者さんの権利〉

1. 誰でも良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 人の尊厳は、医療行為のあらゆる場面において尊重されます。
3. 医学的な状態、診断、処置その他の個人情報保護されます。
4. 治療・検査の方法、薬の内容等について十分な情報と説明を受け、理解した後、同意・拒否を選択する権利があります。
5. 診療録等に記録された自己の診療内容について、本院の規則により、情報の提供を受ける権利があります。

〈患者さんの責務〉

1. 医療従事者が最善かつ適切な診療を行うために、自身の健康状態に関する情報をできるだけ正確に伝える責務があります。
2. すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするために、院内の医療の妨げとならないように協力する責務があります。

高水準のリハビリ治療を 提供する

リハビリテーション科

リハビリテーション(以下リハ)科は、大学病院リハ室と霧島リハセンターで診療を行っています。
大学病院リハ室では、5名の医師が各診療科から紹介される患者さん(年間約1000例)を対象に、診断、評価、リハ処方を行っています。

霧島リハセンターは、大学病院から車で約80分、自然豊かな霧島温泉郷にあります。一般病棟24床、回復期病棟26床を有し、13名の医師が診療に当たり、高水準のリハビリ治療を提供しています。独自に開発した片麻痺や外眼筋^{*1}麻痺を回復させる促通反復療法(川平法)、多くのコンピュータ化訓練装置(機能的振動刺激装置、上肢・下肢運動機能評価訓練装置、視野欠損訓練装置など)、新しい薬理的リハ(蛋白同化ホルモン^{*2}、神経伝達物質^{*3}の調整薬をリハと併用する)、嚥下障害や排尿障害の治療など、先進的なリハを行っています。

私たちは、先進的リハの普及によって、多くの患者さんの障害軽減と障害を持つ皆様の生き甲斐の回復と福祉向上に貢献できることを願っています。

*1 外眼筋

眼球を動かす筋肉の総称

*2 蛋白同化ホルモン

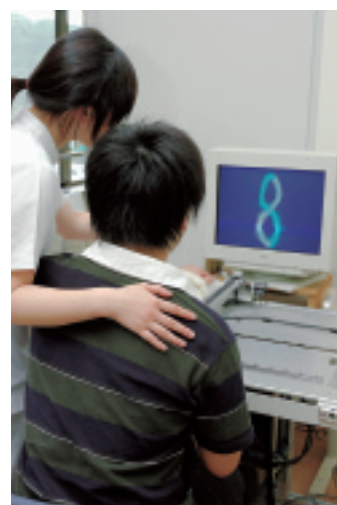
筋肉など蛋白の合成を促進するホルモン

*3 神経伝達物質

中枢神経系において様々な信号や情報を伝える役割をもつ物質



霧島リハセンター訓練室



上肢運動機能評価訓練装置

様々な痛みの疾患を扱う

麻酔科

麻酔科の外来というと何を診ているのだろう、と思う方もいらっしゃるでしょうが、一言で言うと「痛みを治療する」外来ということになります。「ペイン(=痛み)クリニック」とも言われています。

麻酔科は手術中の全身管理(呼吸・循環など)や手術時の痛みを軽減することが専門です。その専門性を生かし、手術時以外の痛みの治療へと応用しています。

痛みは、急性の痛み、慢性の痛み、傷や炎症による痛み、神経の傷による痛み、に分類できます。そしてこれらの痛みは、心理的な問題によって強く影響されることもあります。この全てを総合的に判断して診療を行っています。

現在、麻酔科外来で最も多く扱っている病気は、帯状疱疹(帯状疱疹後神経痛)ですが、他にも様々な痛みを有する疾患を対象としています。痛みを悩んでいる方の「痛み」を軽くすることで、日常生活を過ごしやすくすることが麻酔科外来スタッフの願いです。

麻酔科外来での主な治療(ブロック)

- ◆ 硬膜外ブロック
- ◆ 星状神経節ブロック
- ◆ 肋間神経ブロック
- ◆ 腕神経叢ブロック
- ◆ 交感神経ブロック
- ◆ 神経根ブロック
- ◆ 三叉神経ブロック

そのほかの治療は、麻酔科外来にてお尋ねください。

平成20年度 鹿児島大学病院 診療案内

●初診・再診 ●初診 ○再診 - 休診 ●指定来院

〈医科診療部門科名〉	階	月	火	水	木	金
心臓血管内科	2F	●	●	○	●	●
心臓血管外科	3F	○ 予約制	●	○ 予約制	●	○ 予約制
消化器内科	2F	●	○ 検査のみ	○ 検査のみ	●	○ 検査のみ
消化器外科(I)	3F	●	-	○	-	-
消化器外科(II)	3F	-	●	-	●	-
神経内科	2F	○	○	●	○	●
脳神経外科	3F	-	●	-	●	●
呼吸器内科	2F	●	-	●	●	●
呼吸器外科(I)	3F	●	-	○	-	-
呼吸器外科(II)	3F	-	●	-	●	-
心身医療科	3F	● 午前	○ 午前	○ 午前	● 午前	○ 午前
腎臓内科	2F	●	-	○	●	●
泌尿器科	3F	●	○	-	○	●
血液・膠原病内科	2F	●	●	○	●	●
糖尿病・内分泌内科	2F	●	●	●	●	●
乳腺・内分泌外科	3F	●	○ 予約制	●	-	-
神経科精神科	3F	●	-	○	●	●
小児科	2F	● 午前 予約制	● 午前 予約制	● 午前 予約制	● 午前 予約制	● 午前 予約制
小児外科	3F	-	○ 予約制	● 午前	○ 予約制	-
産科、婦人科	3F	○ 午前	●	○ 午前	●	○ 午前
整形外科・リウマチ外科	2F	● 午前	○ 午後	● 午前	○ 午後	● 午前
皮膚科	3F	●	○	-	●	●
眼科	2F	●	-	○	-	-
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	3F	●	○ 検査のみ	●	○ 検査のみ	●
放射線科	2F	●	○	●	●	●
麻酔科	3F	●	●	-	●	●
リハビリテーション科 (霧島リハビリテーションセンター)	1F	●	-	○	-	●

〈歯科診療部門科名〉	階	月	火	水	木	金
口腔保健科	3F	●	●	●	●	●
矯正歯科	3F	●	●	●	●	●
小児歯科	3F	●	●	●	●	●
保存科	2F	●	●	●	●	●
歯周病科	2F	●	●	●	●	●
冠・ブリッジ科	2F	初診は奇数日、再診は月～金				
義歯補綴科	2F	初診は偶数日、再診は月～金				
口腔外科	3F	●	○	○	●	○ 2・4週のみ
口腔顎顔面外科	3F	○	●	●	○	○ 1・3・5週のみ
顎顔面放射線科	1F	●	●	●	●	●
歯科麻酔科	3F	○ 予約制	○ 予約制	○ 予約制	○ 予約制	○ 予約制
全身管理歯科治療部	2F	○	●	○	●	○
歯科総合診療部	2F	●	●	●	●	●

▶ 紹介状について

本院は、高度の医療を提供する「特定機能病院」となっております。本院を初めて受診される際は、他の医療機関からの紹介状をご持参されるようお願いいたします。紹介状のない方は、3,150円(特定療養費)を自己負担していただくこととなりますので、ご了承ください。

▶ 予約診療制について

再診は予約診療制を実施しておりますので、当日の診療が終わりましたら、診療部門科で次回の診察を受けられる日時を予約してください。(予約なしでも受診できますが、待ち時間が長くなります。)



医科診療棟

「女性専用外来診察」は完全予約制になっております。

連絡先

TEL(女性専用外来) 099-275-5970(8:00～17:00)

【受付時間】8:30～11:00

【診療時間】8:30～17:00

【休診日】土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始(12月29日～1月3日)

※診療部門科の都合により、診療日が変更になることもあります。



歯科診療棟

歯科の再診はすべて予約制です。

【受付時間】(初診)8:30～16:00

※口腔外科・口腔顎顔面外科は12:00まで

(再診)8:30～17:30

※歯科の再診はすべて予約制

【診療時間】8:30～18:30

【休診日】土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始(12月29日～1月3日)

※診療部門科の都合により、診療日が変更になることもあります。

病院再開発 新中央診療棟の建築に着手

悲願だった病院再開発が平成19年からスタートし、11月に第一期工事の新中央診療棟新築工事に着手、平成20年3月現在、建物の基礎工事(免震装置取付・免震装置基礎工事)を行っています。

場所は既存中央診療棟及び救急集中治療棟の北側で、平成21年6月建物が完成(竣工予定)すると、延べ床面積8,174m²の地下1階地上3階建てで、1階に検査部、医療器材管理部(材料系)、2階には集中治療部、3階には手術部が入る予定です。

新中央診療棟では、手術室の増室(15室→18室:ディサージェリー2室含む)、集中治療部の増床(8床→15床)となり、高度医療に対応する中央診療棟の充実が図られ、病院機能が強化されることとなります。

工事期間中は、患者さん、職員の方々へはもちろんのこと、近隣住民の方々にも大変なご不便、ご迷惑をおかけすることと思いますが、充分注意を払いながら行っていきますので、何卒ご容赦・ご協力のほど、お願い申し上げます。



新中央診療棟建築現場
(平成20年3月10日、免震装置取付・免震装置基礎工事)

本院への絵画寄贈者に感謝状を贈る

画家として活躍された、故・川路歌子さんの絵画を、ご遺族の方から本院へ寄贈したいとの申し入れをいただき、平成20年2月28日、病院長室において、ご遺族の川路清隆さんへ感謝状をお贈りしました。

故・川路歌子さんは、第88回二科展の絵画部で会友賞を受賞するなど、多くの受賞歴をお持ちで、今回寄贈いただいた絵画は、本院診療棟など5カ所に展示し、患者さんや病院スタッフの目を和ませています。



感謝状贈呈



医科診療棟絵画

快適な歯科治療をめざして

歯科麻酔科

当科では、「快適な歯科治療」をめざして専門外来「リラックス歯科外来」を行っています。

歯科を受診する患者さんの多くは「歯科治療は怖い」と思っています。中には極度の恐怖心により歯科治療を受けることができない患者さんもいます。恐怖心が原因でショックや過換気発作が起こることもありますし、高血圧症、狭心症、不整脈などの基礎疾患が増悪ないしは再発することもあります。

このような精神的ストレスを少なくするために、歯科麻酔科では、笑気吸入鎮静法や静脈内鎮静法を施行して気分をリラックスさせながら、自分の好きな音楽をヘッドフォンで楽しむという「リラックス歯科外来」を行っています。患者さんから大好評を得ています。南日本新聞にも紹介されました。

是非、お気に入りの音楽が入ったCD、MD、カセットテープをご持参ください。あたかも自宅のリビングルームで音楽を聴いているような気分で快適な歯科治療をお楽しみいただけます。



椎体病変に伴う疼痛治療：経皮的椎体形成術のお知らせ 放射線科

骨粗鬆症による脊椎圧迫骨折や悪性脊椎腫瘍（原発／転移性）は椎体自体の脆弱さなどによる疼痛や二次性脊髄障害の出現が問題となります。経皮的椎体形成術は画像ガイド下に経皮的に椎体病変を穿刺し、骨セメントを注入する方法で近年になって日本で注目されている新しい治療法です。効果は骨セメントにより椎体の骨強化と起立歩行時の疼痛緩和が図られる点にあると思われます。我々の施設でも椎体病変の症例に対して椎体形成術を行っており良好な成績を得ております。加えて、平成20年2月より厚生労働省から高度先進医療として当科にて実施することが認められました。適応疾患は骨粗鬆症などによる脊椎圧迫骨折、脊椎腫瘍（原発／転移）です。

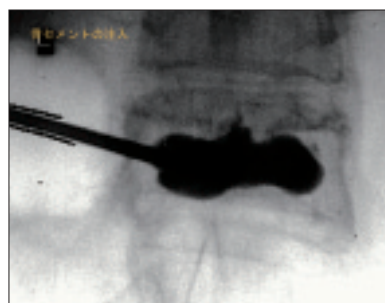
（図1）は椎体形成術の模式図です。（図2）は60歳代の女性で、椎体原発の悪性病変の方で、扁平化した椎体を穿刺し(a)、骨セメントを注入しました(b)。治療後の起立歩行時の疼痛が緩和し、痛み止めが不要な状態まで改善しました。



（図1）椎体形成術の模式図



（図2）a)



b)

アオリイカ・命のリレー

海底の季節は、陸上より一月遅れてやってきます。4月、水温がじわりじわりと上がり始め、海底の岩の上に芽生えた海藻の小さな芽は、春の日差しを受け、太陽を目指して成長してゆきます。冷たい水に縮こまっていた生き物たちも春の訪れを祝うかのように活発に活動し始めます。

鹿児島で「ミズイカ」と呼ばれ親しまれているアオリイカたちにも、産卵の季節が始まりました。

水深20m、まるで木のように繁ったオドリカラマツの側に、ゆらゆらと鰭を揺らめかせながら、20匹ほどのアオリイカが現れました。どれも大きなオスと小さなメスのペアになっています。メスはゆっくりとオドリカラマツの茂みに入り、白い房に入った卵を産み付けてゆきます。オスはその間ずっとメスの側で鰭と脚を大きく広げ、メスを守ります。油断すると、他のオスがメスを奪いにやってくるためです。

産み付けられた卵は40日ほどで孵化し、小さな子イカたちは春の海に旅立ちます。そして卵を産み終えた親たちは、その一生を終えます。

水温む海底で、アオリイカたちの命のリレーが行われるのです。



卵を産み付けるため、オドリカラマツの茂みに入るメス(奥)。撮影しようと近づいた僕の前に、オスが威嚇のポーズで立ちはだかる。(白い房状のものが卵)

病院所在地



※指宿スカイラインで、指宿方面からお越しの方は、山田I.C.では出られませんので、中山I.C.で出てください。

※診療のため来院された方は、入構する際受け取った「駐車カード」を持参し、駐車料無料取扱いカウンター(2階)で手続きすると無料になります。時間外・休日は、1階防災センターで手続きしてください。なお、歯科部門は会計窓口(1階)にお出ください。

交通機関

JR 指宿枕崎線「宇宿駅」下車1.2km(徒歩約15分、バス「宇宿小前」乗車約5分)

市電 谷山線「脇田」電停下車1.3km(徒歩約15分、バス「脇田電停前」乗車約5分)

バス 鹿児島市営:大学病院経由桜ヶ丘線(18番)

▶朝夕の桜ヶ丘団地～市役所前の直行便

市役所前～鹿児島中央駅～新屋敷～郡元～脇田電停前～大学病院前～歯学部病院前～桜ヶ丘団地

▶脇田電停前～桜ヶ丘団地間の循環バス(シャトルバス)

脇田電停前～大学病院前～歯学部病院前～桜ヶ丘県営住宅前～桜ヶ丘中央公園前～桜ヶ丘小前

※鹿児島中央駅、市役所方面は市電へ乗り換え

鹿児島交通:大学病院線(14番)

山形屋～鹿児島中央駅～中洲通～荒田八幡～郡元～脇田～大学病院

鹿児島交通:鴨池港～桜ヶ丘線

鴨池港～南小前～脇田～大学病院～歯学部病院前～桜ヶ丘

鹿児島交通:北埠頭～(広木経由)～魚見原線(18番線)

北埠頭～鹿児島駅～金生町～鹿児島中央駅～田上～広木住宅～桜ヶ丘南～(歯学部病院前～鹿大病院～)魚見原

※16:10北埠頭発以降の時刻の便は大学病院を通りません。

広報誌編集部からのお知らせ

鹿児島大学病院の診療内容、病気の一般知識など知っておきたいことがありましたら、お知らせください。

また、「桜ヶ丘だより」への皆様方からのご意見・ご感想をお待ちしております。

鹿児島大学病院広報誌 桜ヶ丘だより〈9号〉

2008(平成20)年4月発行

発行/鹿児島大学医学部・歯学部附属病院広報委員会広報誌編集部

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号 TEL 099-275-6692

【鹿児島大学病院ホームページアドレス】

<http://com4.kufm.kagoshima-u.ac.jp/>